官報

第八千五百七十號

明治四十五年一月十七日　水曜日　印刷局

○勅令

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十五年一月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

勅令第二號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第九條ノ三　統計局長、印刷局長、各省局長、造幣局長、維新史料編纂事務局長、特許局長又ハ郵便貯金局長ニシテ五年以上高等官二等ニ在リ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陞敍スルコトヲ得

高等官一等ノ本官ニ在リ又ハ本官タル前官高等官一等ノ者ヲ前項ノ各官ニ任用スル場合ニ於テハ高等官一等ト爲スコトヲ得

第一項ニ掲ケタル各官ノ在職年數ハ之ヲ通算ス高等官一等ニ敍スルコトヲ得ル本官ニ在ル者ヲ第一項ニ掲ケタル各官ニ任用シタル場合ニ於テ其ノ前官ノ在職年數ニ付亦同シ

朕廣軌鐵道改築準備委員會官制廢止ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十五年一月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內務大臣　原敬

勅令第三號

廣軌鐵道改築準備委員會官制ハ之ヲ廢止ス

朕臨時治水調査會官制廢止ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十五年一月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

勅令第四號

臨時治水調査會官制ハ之ヲ廢止ス

○府令

朝鮮總督府令第百五十七號

國稅徵收令施行規則左ノ通定ム

明治四十四年十二月二十九日

朝鮮總督　伯爵寺內正毅

國稅徵收令施行規則

第一條　左ニ掲グル國稅ハ面ニ於テ之ヲ徵收スヘシ但シ納稅義務者ヨリ直接納付セシムルヲ便利トリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

本文
本文
許 8570 号

一　地稅
二　戶稅
三　家屋稅
四　酒稅
五　煙草稅
六　鹽稅
七　船稅
八　人蔘稅

第二條　國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ徵收スルコトヲ得ル國稅ハ左ニ揭クルモノニシテ納期ニ到リ稅金ノ徵收ヲ完ウスルコト能ハスト認ムルモノニ限ル

一　納稅ノ告知ヲ爲シタル諸稅
二　當該年分ノ酒稅及煙草稅
三　製造戶數查定濟ノ鹽稅及收穫間數查定濟ノ人蔘稅

第三條　納稅義務者納稅管理人ヲ定メ又ハ之ヲ變更シタルトキハ其ノ氏名及住所若ハ居所ヲ府郡ニ申告スヘシ
納稅管理人其ノ氏名、住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ之ヲ府郡ニ申告スヘシ

第四條　國稅徵收令ニ依ル書類ノ送達ハ使丁又ハ郵便ニ依ルヘシ

第五條　納稅ノ告知、督促及滯納處分ニ關スル公告ハ府、郡ノ揭示場又ハ適當ノ場所ニ揭示シテ之ヲ爲スヘシ但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ他ノ方法ニ依ルコトヲ得

第六條　收稅官吏國稅ヲ徵收セムトスルトキハ納稅義務者ニ對シ第一號樣式ノ納稅告知書又ハ朝鮮總督府通信官署現金受拂規則ニ依ル納稅告知書ヲ發スヘシ但シ收入官吏ニ納付セシムル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ告知スルコトヲ得

第七條　前ヲシテ國稅ヲ徵收セシメムトスルトキハ收稅官吏ハ第二號樣式ノ納額通知書ヲ發スヘシ
前項ニ依リ納額通知書ヲ發シタル後納額ニ異動ヲ生シタルトキハ更ニ其ノ增加額ニ對スル納額通知書又ハ第三號樣式ノ減額通知書ヲ發スヘシ

第八條　前條ノ納額通知書ヲ受ケタルトキハ納稅義務者ニ對シ第四號樣式ノ納稅告知書ヲ發スヘシ
前ハ第五號樣式ノ收納簿ヲ設備シ稅金ノ收納ニ關スル事項ヲ之ニ記入スヘシ

第九條　第一條但書ニ依リ直接納稅義務者ヨリ稅金ヲ納付セシムル場合ニ於テハ收稅官吏ハ納稅義務者ノ氏名、住所若ハ居所、稅額及直接納付ノ告知ヲ爲シタル旨ヲ其ノ面ニ通知スヘシ

第十條　國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ納期ノ到ラサル稅金ヲ徵收セムトスルトキハ收稅官吏ハ納期ヲ定メ第六條ニ依リ納稅ヲ告知シ且納期繰上ノ事由ヲ通知スヘシ若納稅告知ヲ爲シタル後ナルトキハ納期日ノ變更ヲ通知スヘシ
前項ノ場合ニ於テ納額通知書ヲ發シタルモノナルトキハ減額通知書ヲ發スヘシ

第十一條　納稅義務者納稅告知書ヲ受ケタルトキハ稅金ニ納稅告知書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ場所ニ納付スヘシ

第十二條　前ニ於テ稅金ヲ徵收シタルトキハ納稅義務者ニ領收證ヲ交付シ收納簿ニ收入年月日及金額ヲ記入スヘシ
前ニ於テ徵收シタル稅金ハ第六號樣式ノ納付書又ハ朝鮮總督府通信官署現金受拂規則ニ依ル納付書ヲ添ヘ遲滯ナク金庫又ハ國庫金ヲ取扱フ通信官署ニ納付スヘシ

第十三條　前カ國稅徵收法第八號第一項ニ依リ稅金送付ノ責任ノ免除ヲ請ハムトスルトキハ道長官ヲ經由シ申請スヘシ
道長官前項ノ申請ヲ受理シタルトキハ其ノ事實ヲ調查シ意見ヲ具シ朝鮮總督ニ送付スヘシ

第十四條　前ニ於テ徵收スヘキ國稅ヲ其ノ納期限ヲ過キ納付セサル者アルトキハ前長ノ第七號樣式ノ滯納者報告書ヲ府郡ニ提出スヘシ

第十五條　國稅徵收法第九條ニ依リ納稅ノ督促ヲ爲サムトスルトキハ收稅官吏ハ第八號樣式ノ督促狀ヲ發スヘシ
督促狀ヲ發シタルトキハ督促手數料トシテ滯納稅額百分ノ一ニ相當スル金額ヲ徵收ス但シ其ノ金額十錢ニ滿タサルトキハ十錢トス

第十六條　督促狀ニハ金庫ニ納付セシメムトスル場合ニ在リテハ第六號樣式及第九號樣式ノ納付書ヲ、國庫金ヲ取扱フ通信官署ニ納付セシメムトスル場合ニ在リテハ朝鮮總督府通信官署現金受拂規則ニ依ル納付書ヲ添附スヘシ但シ收稅官吏ニ於テ納稅告知書ヲ發シタル稅金ニ付テハ納付書ヲ添附スルコトヲ要セス

第十七條　納稅義務者督促狀ヲ受ケ稅金及督促手數料ヲ收稅官吏ニ納付スルトキハ納稅告知書ヲ、金庫又ハ國庫金ヲ取扱フ通信官署ニ納付スルトキハ納稅告知書及納付書ヲ之ニ添附スヘシ但シ面ノ發シタル納稅告知書ハ之ヲ添附スルコトヲ要セス

第十八條　滯納報告後督促狀發付前稅金ヲ納付スル者アルトキハ第十六條ノ例ニ準シ納付書ヲ交付シ之ヲ稅金ニ添附セシムヘシ

第十九條　國稅徵收法第十一條ニ規定スル證票ニ第十號樣式ニ依ルヘシ

第二十條　差押フヘキ財產管轄區域外ニ在ルトキハ收稅官吏ハ其ノ財產所在地ヲ管轄スル收稅官吏ニ滯納處分ノ引繼ヲ爲スヘシ

第二十一條　差押フヘキ財產數人ノ共有ニ係ルモノナルトキハ滯納者ニ屬スル持分ニ就キ滯納處分ヲ爲シ其ノ持分ノ定メナキトキハ持分相均シキモノトシテ處分スヘシ

第二十二條　收稅官吏財產ヲ差押ヘタルトキハ第十一號樣式ノ差押調書ヲ作リ立會人ト共ニ之ニ署名捺印スヘシ但シ立會人ニ於テ署名捺印ヲ拒ミ又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ附記スヘシ
前項ノ規定ハ債權ノミノ差押ニハ之ヲ適用セス

第二十三條　收稅官吏債權ノ差押ヲ爲ストキハ債務者ニ對シ第十二號樣式ノ債權差押通知書ヲ發スヘシ

第二十四條　質權、抵當權又ハ典當權ノ設定セラレタル財產ヲ差押フルトキハ收稅官吏ハ其ノ債權者ニ對シ第十三號樣式ノ財產差押通知書ヲ發スヘシ
國稅ニ對シ先取權ヲ有スル債權者前項ノ通知ヲ受ケ其ノ權利ヲ行使セムトスルトキハ證憑書類ヲ添ヘ其ノ事實ヲ證明スヘシ

第二十五條　裁判上ノ假差押又ハ假處分ヲ受ケタル財產ヲ差押フルトキハ之ヲ管轄該裁判所執行官吏又ハ強制管理人ニ通知スヘシ

第二十六條　左ノ場合ニ於テハ收稅官吏ハ財產ノ差押ヲ解クヘシ
一　差押物件滯納者ノ權利ニ屬セサルコト判明シタルトキ
二　公賣期日ノ前日迄ニ滯納者又ハ第三者ヨリ督促手數料、滯納處分費及稅金ヲ完納シタルトキ
三　財產ヲ差押ヘタル後國稅徵收法第十二條ニ依リ滯納處分ノ執行ヲ止ムヘキコトヲ發見シタルトキ

第二十七條　公賣ハ入札又ハ競賣ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
公賣ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ公告スヘシ
一　滯納者ノ氏名及住所若ハ居所
二　公賣財產ノ名稱、數量、性質、所在其ノ他重要ナル事項
三　入札又ハ競賣ノ場所、日時
四　開札ノ場所、日時
五　保證金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額
六　代金納付ノ期限

競賣ノ方法ニ依リ財產ヲ公賣スルトキハ競賣人ヲ選ヒ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第二十八條　財產公賣ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ加入保證金又ハ契約保證金ヲ徵スヘシ
加入保證金ハ買受望人各自ノ見積價格百分ノ五以上、契約保證金ハ買受價格百分ノ十以上トシ公賣ノ時時之ヲ定ム
落札者又ハ買受人義務ヲ履行セサルトキハ其ノ保證金ハ政府ノ所得トス

第二十九條　公賣ハ財產所在ノ面ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ收稅官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ地方ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第三十條　公賣ハ公告ノ初日ヨリ七日ノ期間ヲ過キタル後之ヲ執行スヘシ但シ其ノ物件多額ノ保管費ヲ要シ若ハ著シク其ノ價格ヲ減損スルノ虞アルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條　收稅官吏ハ公賣ニ付スヘキ財產ノ價格ヲ見積リ之ヲ封書トシテ公賣ノ場所ニ置クヘシ

第三十二條　入札ノ方法ヲ以テ公賣ニ付スル場合ニ於テ落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二名以上アルトキハ其ノ同價ノ入札人ヲシテ追加入札ヲ爲サシメ落札者ヲ定ム追加入札ノ價格仍同シキトキハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ム

第三十三條　財產ヲ公賣ニ付スルモ買受望人ナキカ又ハ其ノ價格見積價格ニ達セサルトキハ更ニ公賣ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　公賣財產買受人代金納付ノ期限迄ニ其ノ代金ヲ完納セサルトキハ其ノ賣買ヲ解除シ更ニ之ヲ公賣ニ付スヘシ

第三十五條　前二條ニ依リ再公賣ヲ爲ス場合ニ於テハ第三十條ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第三十六條　賣却シタル財產ニ付滯納者ヲシテ權利移轉ノ手續ヲ爲サシムル必要アルトキハ收稅官吏ハ期限ヲ指定シテ其ノ手續ヲ爲サシムヘシ
前項ノ期限內ニ滯納者其ノ手續ヲ爲ササルトキハ收稅官吏ハ滯納者ニ代リテ之ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　公賣物件ノ買受人又ハ競賣人ハ第十四號樣式ノ納入書ヲ添ヘ其ノ代金ヲ納入スヘシ

第三十八條　國稅徵收法第四條ノ一第二號乃至第六號ニ該當スル場合ニ於テハ收稅官吏ハ當該官廳、公共團體、執行裁判所、執行官吏、強制管理人、破產主任官又ハ滯納人ニ對シ督促手數料、滯納處分費及滯納稅金ノ交付ヲ請求スヘシ但シ他ニ差押フヘキ財產アルトキハ之ヲ差押フルコトヲ妨ケス

第三十九條　滯納處分ヲ終了シタルトキハ收稅官吏ハ第十五號樣式ノ計算書ヲ作リ之ヲ滯納者ニ交付スヘシ
賣却シタル財產ニ對シ質權、抵當權又ハ典當權ヲ有スル者ハ其ノ計算ニ關スル記錄ノ閱覽ヲ收稅官吏ニ求ムルコトヲ得

第四十條　督促又ハ滯納處分ニ關シ使丁ヲ以テ書類ノ送達ヲ爲ストキハ第十六號樣式ノ送達書ニ受取人ヲシテ署名捺印セシムヘシ

附　則

本令ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ使用スル帳簿ハ明治四十四年度分ニ限リ引續キ使用スルコトヲ得

許可　8570　号

第一號樣式

書知告税納

第「何」號	「何」年度	「何」府(郡)「何」町村	納
納期限	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分
納期後入	「何」區「何」府(郡)		

一金「何程」

右明治「何」年「何」月「何」日限「何」金「何」府(郡)「何」町村税(目)「何」年「何」期分納付スベシ

明治「何」年「何」月「何」日　「何」府尹(郡守)「氏」名㊞

橫綴用三六銭五寸寸法

橫綴輪三五寸寸法

書知通

第「何」號	「何」年度	「何」府(郡)「何」町村	納
納期限	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分
「何」區「何」府(郡)			

一金「何程」

明治「何」年「何」月「何」日領収

「何」
(収入官吏)氏　名㊞

橫綴用三六銭五寸寸法

橫綴輪三五寸寸法

御収金印廃

書證收領

第「何」號	「何」年度	「何」府(郡)「何」町村	納

一金「何程」

「何」税
「何」年「何」期分

明治「何」年「何」月「何」日領収

「何」
(収入官吏)氏　名㊞

橫綴用三六銭五寸寸法

橫綴輪三五寸寸法

備考

一　領収證書及通知書用紙ノ綴込金額納入年度科目等ハ總テ納税告知書ニ記入スベシ

二　本税中ニ特目金額ヲ併記シ分納ノ場合ニ於テハ第九號樣式ノ納付書ヲ以テ領収スルコトヲ得但シ年度ノ異ニスルトキハ此ノ限ニ在ラス

三　收入官吏ハ納税告知書ニ依リ税金ヲ領収スルトキハ明治二十六年大藏省令第三十二號ノ現金領収證ヲ發スルコトヲ要セス

四　收入官吏ハ本樣式納税告知書ノ領収濟年月日ヲ記入シ收入濟ノ印ヲ捺スルコトヲ得

第二號樣式

書知通領額

第「何」號	「何」年度	「何」	面	納
納期限	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分	

一金「何程」

右明治「何」年「何」月「何」日限「何」金「何」度(「何」郡役所)ニ納付スベシ

明治「何」年「何」月「何」日　「何」府尹(郡守)「氏」名㊞

備考

一人別納額ノ通知ヲ要スル場合ハ一人別納額調書ヲ添附スベシ

第三號樣式

書知通領證

第「何」號	「何」年度	「何」	面
納期限	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分

一金「何程」

明治「何」年「何」月「何」日「何」號納額通知書ノ内右領額ス

明治「何」年「何」月「何」日　「何」府尹(郡守)「氏」名㊞

備考

一人別納額ノ區別ヲ要スル部分ヲ調書ヲ添附スベシ

第四號樣式

書知告税納

第「何」號	「何」税	「何」年「何」期分	「何」洞(里)「何」某納

一金「何程」

右「何」年「何」月「何」日限出納所ニ納付スベシ

明治「何」年「何」月「何」日　「何」區長「氏」名㊞

(四)

(書取印)

領收證

第「何」號	「何」税	「何」年「何」期分	「何」洞(里)「何」某納
一金「何程」	明治「何」年「何」月「何」日領収		

(五)

第五號樣式

「何」年度「何」税收納簿

「何」洞(里)「何」某

年月日	摘要	調定額	收納額	未納額
「何」年「何」月「何」日	第「何」號告知書ノ内分	「何」程		「何」程
「何」年「何」月「何」日			「何」程	「何」程
「何」年「何」月「何」日	滯納報告			

「何」洞(里)「何」某

年月日	摘要	調定額	收納額	未納額

備考

一　本簿ハ税目別ニ則リ調製シ一年度間使用ノ見積ヲ以テ適宜ノ行數ヲ設クベシ但シ地税戸税ヲ除キタル以外ノ各税ハ合綴シ口數ヲ分チ整理スルコトヲ勧ムベシ

二　税目毎ニ合計ヲ附シ每月ノ調定收納及未納額ヲ明ニスベシ

第六號樣式

書付納

明治「何」年度	「何」府(郡)「何」町村	「何」洞(里)「何」某	納
納期限	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分
「何」區「何」府(郡)			

一金「何程」

明治「何」年「何」月「何」日

「何」府尹(郡守)殿

「何」區長「何」某㊞

滯納報告書

税目	年度	納期區分	税額	滯納ノ事由	住所	氏名
「何」税(目)	「何」年度	「何」年「何」期分	「何」程	貧困(怠慢等)	「何」區「何」町村	「何」某

第七號樣式

書證收領

明治「何」年度	「何」府(郡)「何」町村	「何」洞(里)「何」某	納
「何」區「何」府(郡)	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分

一金「何程」○金庫取扱主任印

明治「何」年「何」月「何」日領収　「何」　金　庫㊞

橫綴用三六銭五寸寸法

橫綴輪三五寸寸法

備考

同一ノ特定ノ納税ノ納付セシメントスルトキハ本書中ニ科目金額ヲ併記シ第九號樣式ノ納付書ヲ發スルコトヲ得但シ年度ノ異ニスルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八號樣式

督促狀

第「何」號	「何」府(郡)「何」町村	「何」某
明治「何」年度	租　税	「何」税(目)	「何」年「何」期分

一金「何程」　滯納税金

一金「何程」　督促手數料

右「何」月「何」日限「何」金庫(「何」出張所)「何」府(郡)ニ納付スベシ此ノ期限ヲ過キ納セサルトキハ財産差押ノ處分ヲ受クベシ

明治「何」年「何」月「何」日　「何」府尹(郡守)「氏」名㊞

第 8570 号　本文

第九號樣式

書付

明治「何」年度	「何」庁（部）「何」面	「何」来納	様様用紙 三六縦 寸寸寸 五五法
朝鮮歳入	雑収入	手数料	
「何」道「何」庁（部）			様様輪 三五縦 寸寸寸 五五法

一金「何程」

明治「何」年「何」月「何」日

印紙金

書通知

明治「何」年度	「何」庁（部）「何」面	「何」来納	様様用紙 三六縦 寸寸寸 五五法
朝鮮歳入	雑収入	手数料	
「何」道「何」庁（部）			様様輪 三五縦 寸寸寸 五五法

一金「何程」　地租　営業税　雑種税　手数料

明治「何」年「何」月「何」日領収　「何」　金　圓

印紙金

書證收領

明治「何」年度	「何」庁（部）「何」面	「何」来納	様様用紙 三六縦 寸寸寸 五五法
雑収入	手数料		

一金「何程」　地租　営業税　雑種税

明治「何」年「何」月「何」日　「何」　金　圓

備考

一　業人営業ニ於テ地租手数料ヲ領収セムトスルトキハ本書ニ依リ領収ヲ為シ明治二十六年六月勅令第三十二號ノ現金領収簿ヲ作成スルコトヲ得

二　業人営業ニ於テ領収ヲ為ストキハ本樣式銀行約束中領収ノ部ニ記入シ取引銀行ヲシテ領収ヲ為サシムルコトヲ得

三　営業税印ヲ為ス領収證書ニ地租手数料ヲ併記スルトキハ地租ノ納付ニ関スル部分ニ限リ本樣式ニ依ルコトヲ得

第十號樣式

用紙厚紙　縦三寸五分　横二寸五分

表

第「何」號

官吏公吏ノ印章

「何」庁（部）印

裏

「何」庁（部）副署

「官」氏名

第十一號樣式

差押調書

一「何」　「何程」

「何」庁（部）「何」面「何」調「何」年「何」番

一金「何程」

此徴収額「何程」

右ハ「何」庁（部）「何」面「何」年「何」期分金「何程」滞ニ付本人ニ本人ノ同居家族「何」ニ立会ノ上調記ノ上差押フルモノナリ

明治「何」年「何」月「何」日

「何」庁（部）副署

立会人「何」官氏名　㊞

第十二號樣式

債權差押通知書

「何」庁（部）「何」面

債權者「何」　某

「何」庁（部）「何」面

債務者「何」　某

一金「何程」　徴収金額

内

金「何程」　営業税

金「何程」　雑種税手数料及加算金

右ハ明治「何」年「何」月「何」日「何」庁（部）「何」面「何」調「何」番ヲ以テ差押タル本人ノ「何」ニ対スル債權ノ内「何程」ヲ徴収シ明治「何」年「何」月「何」日迄ニ本官ニ仕払フヘシ

右通知ス

明治「何」年「何」月「何」日　「何」庁（部）「氏名」　㊞

「何」庁（部）「何」面

「何」某殿

第十三號樣式

財產差押通知書

「何」庁（部）「何」面

「何」某

（五）

一金「何程」　「何」輸出シ「何」年度「何」期分

一金「何程」　営業税手数料

右滞納ニ付明治「何」年「何」月「何」日左記ノ財產差押帳（之ニ類シ仮取帳ヲ添附シ此ノ通知書ヲ交領シタル日ヨリ七日以内ニ其ノ事実ヲ調明セラルヘシ）ニ出席相成ス

明治「何」年「何」月「何」日　「何」庁（部）「何」　某　㊞

「何」庁（部）「何」面

「何」某殿

「何」庁（部）「何」面「何」調「何」年「何」番

一金「何程」

第十四號樣式

納入書

一金「何程」

内

金「何程」　「何」

右納入候也

「何」庁（部）「何」面

明治「何」年「何」月「何」日　買受人「何」　某　㊞

（「何」某会社物件競買人「何」　某　㊞）

「何」庁（部）「何」殿

第十五號樣式

計算書

「何」庁（部）「何」面

滞納者「何」　某

一金「何程」　此入金

内訳

金「何程」　差押通知

金「何程」　「何」入金充金

一金「何程」　「何」　某

一金「何程」　住錦洞

内訳

金「何程」　営業税手数料及滞納処分費

内金「何程」　「何」営業税手数料

金「何程」　雑種税「何」某（又ハ何）分

内金「何程」　割増金

加算

内金「何程」　滞納処分費

「何」庁（部）「何」

内金「何程」　滞納者「何」某ニ交付

金「何程」　滞納者ヘ還付スヘキ分

右ノ通

明治「何」年「何」月「何」日　「何」庁（部）「氏名」　㊞

（六）

第十六號樣式

送達書

送達シタル書名通数	
名宛人ノ住所又ハ居所及氏名	
受取人ノ署名捺印	
送達シタル日時	
名宛人又ハ受取人ノ代理者ハ受取人ト名宛人トノ関係	

「何」某　㊞

備考

本錄ニ要件ヲ記載シタル送達ヲ作リ本書ニ代用スルコトヲ得

朝鮮總督府令第一號

朝鮮總督府鐵道局所管線路ニ於ケル旅客賃金左ノ通改ム

三等普通金	一哩ニ付金二錢
二等賃金	三等賃金ノ七割五分增
一等賃金	三等賃金ノ十五割增

附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年一月十日　朝鮮總督　伯爵寺内正毅

朝鮮總督府令第二號

明治三十八年十一月一日府令第八十六號關東州ノ貨幣及公私金ニ關スル規則中左ノ通改正ス

明治四十五年一月十日　朝鮮總督　伯爵佐久間左馬太

第一條第一項第三號中「金額ヲ」ヲ「金額ノ種類及量ニ改メ第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第六號以下順次一號ヲ繰下ク

六　關東州ノ在貨幣制ヲ定メタルモノハ其ノ制

第二條第一項第三號中「政令ヲ」ヲ「政令又ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」ニ改メ第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第七號以下順次一號ヲ繰下ク

六　慕集金品處分ノ結了期限

第三條ノ二　慕集金品處分ノ後剰餘ヲ生シタルトキハ處分ノ方法及其ノ事由ヲ具シ遞信總督ノ認可ヲ受クヘシ

第五條左ノ場合ニ於テハ七日以内ニ遞信總督ニ届出ヘシ

一　第一條第一項第六號乃至第七號及第一條第一項第八號乃至第十號ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキ

第 8570 号　本文

二　國體ヲ解散シ若ハ募集金品ノ結了シタルトキ又ハ費用ノ徴收若ハ
金品ノ募集ヲ中止シ廢止シ若ハ募集ヲ了リタルトキ
三　第三條ノ募集徒事者ノ本籍住所、身分職業氏名ニ異動ヲ生シタルトキ
又ハ募集徒事者ヲ廢止シタルトキ
前項第二號ノ場合ニ於テハ收支計算書ヲ添附スヘシ
第五條ノ二　費用ヲ徴收スル團體ハ當該年分收支計算ヲ翌年一月三十一日限
臺灣總督ニ届出ヘシ
費用徴收ノ中止又ハ廢止後收支ノ結了セサルモノ亦同シ
寄附金品ノ募集ニシテ第三條ノ結了期限翌年以降ニ亙ルモノハ當該
別年分收支計算ヲ翌年一月三十一日限臺灣總督ニ届出ヘシ
目以内ニ前年度ヲ定メタルモノハ前二項ノ規定ニ拘ラス其ノ年度經過後三十
日以内ニ前年度ニ於ケル收支計算ノ届出ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ
豫メ其ノ年度ヲ届出ヘシ
第九條中十圓以上ヲ前ノ第一號及第二號ヲ左ノ如ク改メ第三號中第四條ノ
上ニ第三條ノ二ニ違反シ若ハ加ヲ
一　第一條ノ認可ヲ受ケシテ費用ヲ徴收シ若ハ徴收セシメ又ハ徴收事項
ヲ變更シタル者
二　第二條第三條ノ許可又ハ認可ヲ受ケシテ寄附金品ヲ募集シ若ハ募
集セシメ又ハ募集事項ヲ變更シタル者
第十條　第五條ノ二及第十二條第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料
ニ處ス
第十二條第一項中「國庫又ハ地方税經費」ヲ「國庫、地方税經費又ハ臺灣公債」
ニ改メ左ノ一項ヲ加フ
前項ニ該當スル者其ノ金品ノ募集ニ著手シタルトキハ第二條第一項各號ノ
事項ヲ第三條第一項ノ募集ニ著手シタルトキハ第二條第一項各號ノ
以内ニ臺灣總督ニ届出ヘシ其ノ非項ニ異動アリタルトキ亦同シ
附　則
本令ハ臺灣總督ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府令第二號

明治四十年府令第十九號公學校規則中左ノ通改正ス

明治四十五年一月十日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

前項ニ違反シタル者ハ第十條ノ例ニ依リ處分ス

臺灣總督府令第三號

明治四十年府令第十九號公學校規則中左ノ通改正ス

明治四十五年一月十日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

第四條第二項中「年度開始前ニ之ヲ」ヲ「年度開始ノ一箇月前ニ」ニ改メ
附　則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年一月十七日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

灣總督ノ認可ヲ受ケタルコトヲ得

○告示

明治四十五年一月十七日　臺灣總督府

停車場及哩程左ノ通
但シ運達便扱貨物ノ取扱ヲ爲サス

停車場名	所在地	哩程
九份	基隆廳金瓜石堡九份庄	一哩四分
港口	同堡港口庄	二哩二分

明治四十五年一月十七日　臺灣鐵道總長　原敬

内務省告示第五號

一　内務省所管ノ農業之資　一册　定價金拾錢
右出版物ハ哆米爾松ト謳ヘル以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治四十五年一月十七日　内務大臣　原敬

農商務省告示第三號

第四十二條第四十六回獸醫免許試驗竝第三十六回蹄鐵工免許試驗ニ
合格シ尚ホ第四十六回獸醫免許試驗ニ合格シ又ハ第三十六回蹄鐵工免許試驗ニ
合格シタル者ニ對シ明治三十七年十二月二十日農商務省令第十四號獸醫蹄鐵工免許
規則第十條ノ規定ニ依リ獸醫又ハ蹄鐵工ノ免許ヲ與フ
試驗ノ期日ニ關シテハ豫メ之ヲ定メ出願者ハ

任陸軍三等軍醫正　陸軍一等軍醫從六位勳五等　戶塚陸三郎
任陸軍一等軍醫　陸軍二等軍醫從七位　武市　榮
任陸軍二等軍醫　陸軍二等軍醫從七位　角田　俊吉
任陸軍一等軍醫　陸軍二等軍醫從七位　藤本　茂治
任陸軍一等軍醫　陸軍二等軍醫從七位　淺見　哲堂
任陸軍一等軍醫　陸軍二等軍醫從七位　伊庭　慶吉
任陸軍憲兵中尉　陸軍步兵中尉從七位勳六等　青山　竹治
任九州帝國大學工科大學助教授　小林俊次郎
敍高等官七等
任警視　福井縣遠敷郡長從六位勳六等　大山　綱吉
敍高等官五等　警視從七位　大島破竹郎
敍高等官六等　德島縣事務官從七位　堀口　清貞
敍高等官六等　岐阜縣技師正六位勳六等　宇都宮　寬
敍高等官三等　新潟縣三島郡長從六位勳六等　北見東一郎
敍高等官四等　群馬縣吾妻郡長從六位勳五等　園　鉦三郎
敍高等官四等　宮城縣黑川郡長從六位勳五等　伊藤　近春
敍高等官五等　北海道廳技師正七位　山口　勝伴
敍高等官五等　大阪府技師正七位　關　菊治
敍高等官五等　燈手縣技師正七位　長谷川佐太郎
敍高等官五等　石川縣技師正七位勳六等　門脇捨太郎
敍高等官五等　鳥取縣技師正七位　大野　麟三
敍高等官六等　山口縣吉敷郡長正七位勳六等　原　要二
敍高等官六等　長崎縣警視從七位勳六等　猿渡竹之助
敍高等官六等　廣島縣警視從七位勳六等　藤崎　供隣
敍高等官七等　大分縣技師從七位　富永　升
敍高等官七等　警視正八位勳七等　武川直三郎
敍高等官七等　警視正八位勳七等　吉田　文一
敍高等官七等　警視正八位勳七等　秋田僖之助
敍高等官七等　警視正八位　弘田久壽治
敍高等官七等　警視正八位　緒方惟一郎
敍高等官七等　小關　隆
敍高等官七等　山梨縣南巨摩郡長正八位　宮澤壯兵衛
敍高等官七等　青森縣警視正八位　望月嘉三郎
敍高等官七等　福島縣雙葉郡長從六位勳六等　遠藤　辰雄
任福島縣伊達郡長
敍高等官七等
任福島縣信夫郡長
敍高等官七等
任福島縣事務官補　福島縣事務官補從七位　田手　喜市
敍高等官七等　福島縣信夫郡長從七位　佐瀨　剛
任福島縣田村郡長　福島縣屬　更科　熊彥
敍高等官七等　福島縣屬　田邊　勝邪
任福島縣事務官補　福島縣相馬郡書記　目黑　俊彥
敍高等官七等
任福島縣雙葉郡長　警視從七位　松井與一郎
敍高等官八等
任福井縣南條郡長　警視從七位　淺見　哲堂
敍高等官七等
任福井縣遠敷郡長　陸軍二等軍醫從七位　伊庭　慶吉
敍高等官五等　陸軍二等軍醫從七位　青山　竹治
任福井縣敦賀郡長　陸軍步兵中尉從七位勳六等　小林俊次郎
敍高等官五等
任福井縣大野郡長　福井縣敦賀郡長從六位勳五等　土持　兼白
敍高等官八等
任福井縣敦賀郡長　福井縣大野郡長正七位　若杉　喬
敍高等官五等
任福井縣大野郡長　福井縣屬正八位勳八等　杏　百太郎
敍高等官八等
任富山縣西礪波郡長　富山縣屬正八位勳八等　中村　光德
敍高等官七等
香川縣立高松高等女學校教諭ニ任ス　神奈川縣女子師範學校教諭兼神奈川縣立高等女學校教諭　宮崎　重藏
富山縣立農學校教諭ニ任ス　富山縣立農學校教諭　沼知卯三郎
三重縣水產試驗場技手
宮城縣水產試驗場技師兼宮城縣立水產學校教諭ニ任ス　三重縣水產試驗場技手　陸軍砲兵軍曹　黑木　圓太
維新史料編纂會委員被仰付　從一位勳二等侯爵　久我　通久
（各通）　正三位勳一等功二級子爵　大島　久直
正三位勳一等男爵　尾崎　三良
從三位勳二等　佐和　正
從三位勳一等　加太　邦憲
正四位勳三等　田邊　太一
從四位勳五等　永井久一郎
從五位勳六等　小橋　元雄
從六位　山本　復一
從六位勳六等　柴　太一郎
有馬　秀雄
朝鮮總督府判事　權　重瑾
福島縣伊達郡長　馬場　直人
福井縣南條郡長　東　忠藏
依願免本官（以上一月十六日內閣）

中部鐵道管理局兼務ヲ命ス（六月十日鐵道院）　鐵道院技師　村橋　素吉
特旨ヲ以テ位一級被進（六月十日宮內省）　陸軍中將正三位勳一等功二級男爵　塚本　勝嘉
賜四級俸（四月二十四日學十二外務省）　領事官補　伊藤　述史
兒本職臨時朝鮮派遣步兵第二聯隊大隊長被仰付　步兵第四十六聯隊大隊長陸軍步兵少佐　佐藤　里吉
補步兵第五十九聯隊附　陸軍步兵少佐　柴田　警枝
兒本職補朝鮮駐箚憲兵隊分隊長　小倉憲兵隊分隊長陸軍憲兵中尉　今村嘉之助
補小倉憲兵隊分隊長　陸軍憲兵中尉　青田　竹治
補工兵第十大隊附　陸軍工兵中尉　宇佐美　彊
（各通）　臨時朝鮮派遣步兵第二聯隊大隊長陸軍步兵少佐　林　半祐
步兵第五十八聯隊附陸軍步兵中尉　本田　武治
停職被仰付　野砲兵第四聯隊附陸軍砲兵大尉　篠田孫次郎
休職被仰付　陸軍步兵少佐　渡邊　弘毅
（各通）　陸軍步兵大尉　渡邊　稔郎
豫備被仰付　陸軍經理學校教官陸軍大學校教官陸軍主計正　渡邊　行三
陸軍省經理局御用掛兼勤ヲ免ス　陸軍經理學校教官兼陸軍大學校教官陸軍主計正　渡邊　行三
兒本職竝兼職　陸軍三等主計正　渡邊　行三
經理事務研究トシテ獨逸國駐在被仰付　陸軍三等主計正　渡邊　行三
兒本職　陸軍軍醫學校教官陸軍三等軍醫正　小口　忠太
補步兵第十八聯隊附　陸軍三等軍醫正　宮澤　弘
步兵第三十三聯隊附陸軍一等軍醫　前田　豐作
兒本職補臺灣步兵第一聯隊附　臺灣步兵第一聯隊附陸軍一等軍醫　藤關　義一
兒本職補大津衛戍病院附　大津衛戍病院附陸軍一等軍醫　靜間　省三
兒本職補大津衛戍病院附　野砲兵第二十二聯隊附陸軍一等軍醫　田島清十郎
補野砲兵第二十二聯隊附　東京第一衛戍病院附陸軍一等軍醫　新宮　涼男
兒本職補步兵第五十九聯隊附　陸軍一等軍醫　有馬　孝範
兒本職補東京第一衛戍病院附　步兵第六十七聯隊附陸軍一等軍醫　柴本　安衛
兒本職補步兵第六十七聯隊附　鐵道聯隊附陸軍三等軍醫　榮
補步兵第六十五聯隊附　陸軍一等軍醫　武市　天野　戢
兒本職補廣島陸軍地方幼年學校附兼同校教官　廣島衛戍病院附陸軍二等軍醫

兒本職補廣島衛戍病院附　步兵第二十六聯隊附陸軍軍醫　長谷部泉三
兒本職補水戶衛戍病院附　朝鮮駐箚軍軍醫部陸軍軍醫　藤本　茂治
朝鮮駐箚軍司令部附被免　陸軍二等軍醫　矢崎　豐久
補朝鮮駐箚軍軍醫部部員　陸軍二等軍醫　矢崎　豐久
兒本職補步兵第五十五聯隊附　步兵第三十五聯隊附陸軍一等軍醫　淺見　哲堂
兒本職補步兵第四十聯隊附　步兵第四十聯隊附陸軍一等軍醫　伊庭　慶吉
兒本職補步兵第十九聯隊附　步兵第十九聯隊附陸軍一等軍醫　鐸木信三郎
兒本職補騎兵第十九聯隊附　步兵第十九聯隊附陸軍一等軍醫　後藤　七郎
兒本職補步兵第二十四聯隊附　步兵第二十四聯隊附陸軍一等軍醫　物江　一志
兒本職補衛戍病院附　衛戍病院附陸軍一等軍醫　森鼻　保
兒本職補步兵第二十三聯隊附　步兵第二十三聯隊附陸軍一等軍醫　森鼻　保
兼補陸軍士官學校教官　步兵第十八聯隊附陸軍三等軍醫正　池內市太郎
（各通）　熊本陸軍地方幼年學校附陸軍二等主計　長谷部泉三
休職被仰付（以上一月十六日陸軍省）　兼職如故　河內砲術長　兼職如故　陸軍工廠艦裝員　賀海
兒本職河內砲術長心得被仰付　兼職如故　河內航海長　兼職如故　陸軍工廠艦裝員　海少佐　石川秀三郎
兒本職補河內航海長心得被仰付　陸軍中央幼年學校附陸軍一等軍醫　遠山　一二
高千穗乘組被免河內乘組被仰付　陸軍同校教官陸軍一等軍醫　池內市太郎
浪速乘組被免河內乘組被仰付　海軍中尉　井手　元治
兒浪速乘組補第一艇隊附　海軍中尉　三由榮次郎
補第二艇隊附　海軍中尉　澁谷　莊司
兒本職浪速乘組被仰付　海軍中尉　兵頭宗治郎
兒本職高千穗乘組被仰付　第二艇隊附海軍中尉　彭城　昌國
補第二艇隊附　第一艇隊附海軍中尉　佐久間次郎
八雲乘組被免河內乘組被仰付　海軍中尉　石井　先知
河內乘組被仰付（以上一月十五日海軍省）　海軍中尉　山村　伴三
休職被仰付（六月十日同）　海軍中尉　藤堂　功
本俸六級俸下賜　海軍大佐　西山　保吉
七級俸下賜　近重　眞澄
九級俸下賜（以上一月十五日文部省）　京都高等工藝學校教授　本野　精吾
遞信省官吏練習所教官兼務ヲ免ス　小樽高等商業學校教授　國松　豐
遞信書記官　遞信管理局事務官　渡部　信
遞信官吏練習所教官兼務ヲ命ス（以上一月十五日遞信省）　遞信書記官　井上　秀堯
臺灣總督府土木局長事務取扱ヲ免ス　臺灣總督府民政長官　內田　嘉吉
臺灣總督府工事部長ヲ免ス　臺灣總督府民政長官　內田　嘉吉
臺灣總督府土木局長心得ヲ命ス　臺灣總督府技師　高橋辰次郎
臨時臺灣總督府工事部長ヲ命ス（以上一月十四日臺灣總督府）　臨時臺灣總督府工事部技師　高橋辰次郎

見本
8570

上京ヲ命ス（八日同）
十三級俸下賜（一日茨城縣）　臺灣總督府技師　中川友次郎

○宮廷錄事

○皇族御饗應　那須御用邸ヘ行啓ノ爲メ昨十五日御出發神奈川縣下鎌倉ヘ御旅行相成リタリ

○彙報

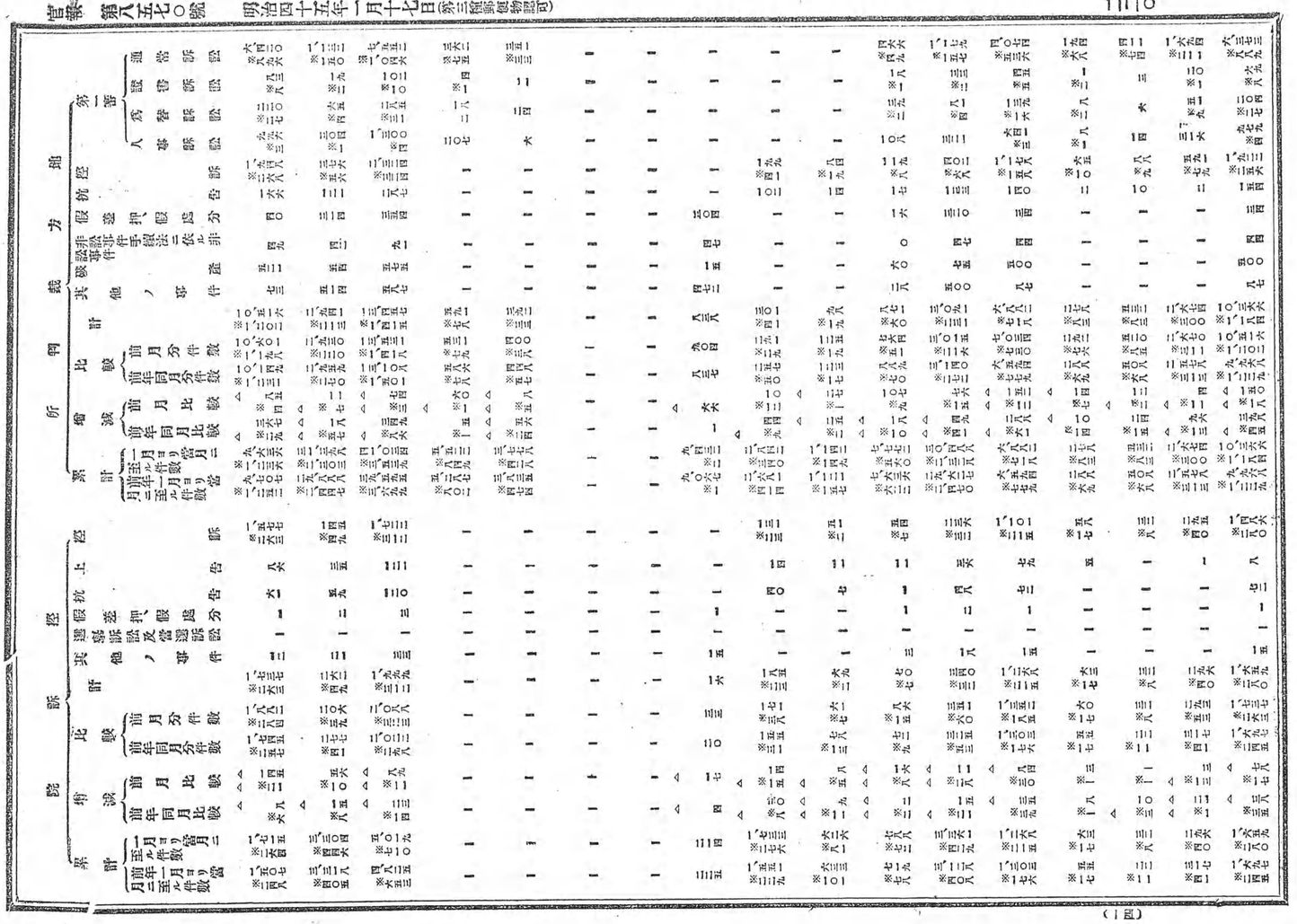
○官廳事項

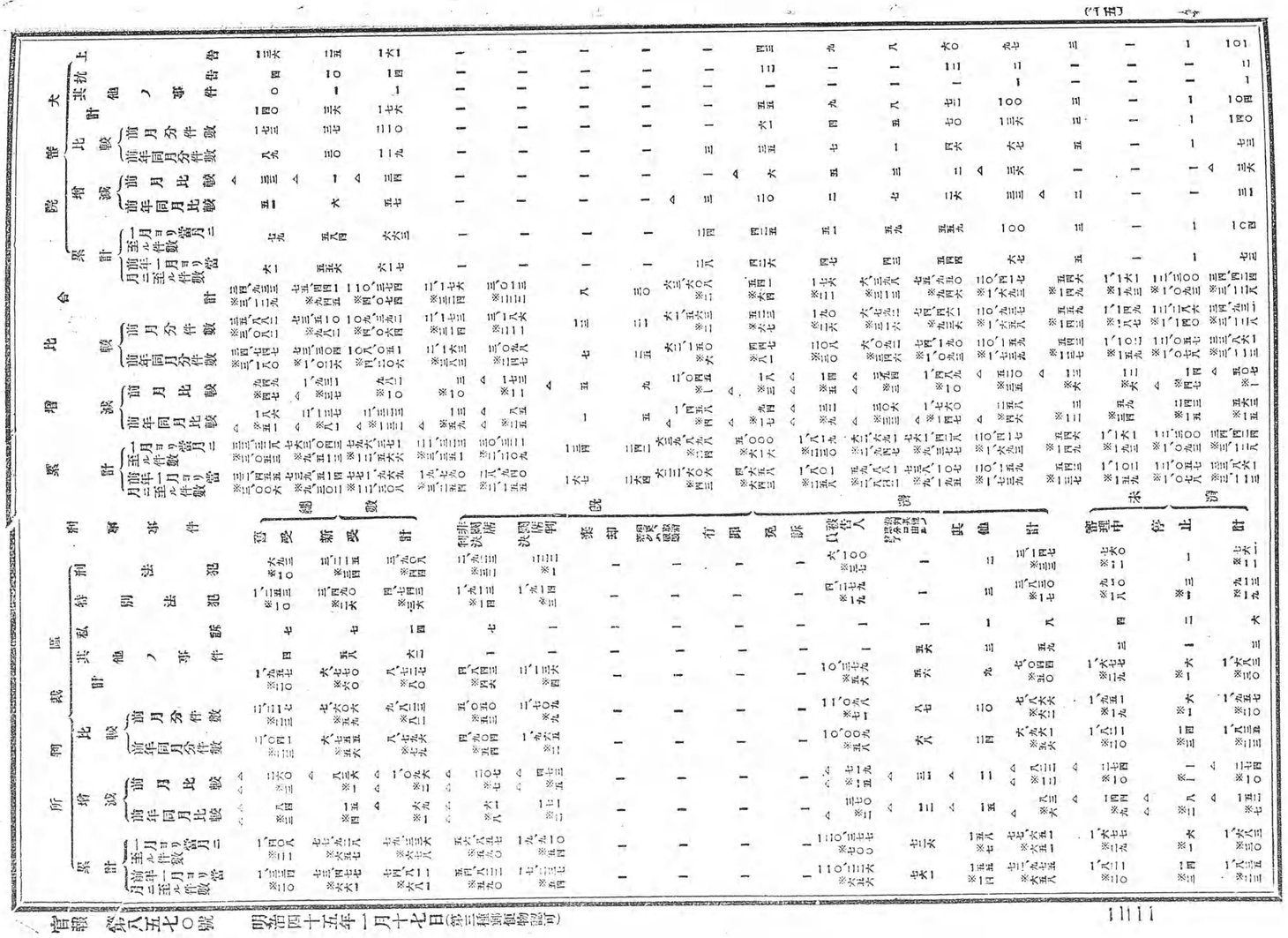
○鑛業　清國政府ヨリ用ヒ來ル鑛油測量ノ爲メ本邦人ヲ雇入ルル事ニ付テハ本年四月十一日農商務省令第十四號ヲ以テ鑛業條例ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲シ鑛業權ヲ得ル迄ハ鑛業條例ニ依ル鑛業ノ出願ヲ爲スヲ禁止シタリ

○官吏死去　逓信書記官正七位勳五等中村好之助ハ本月十四日病ニ罹リ死去セリ

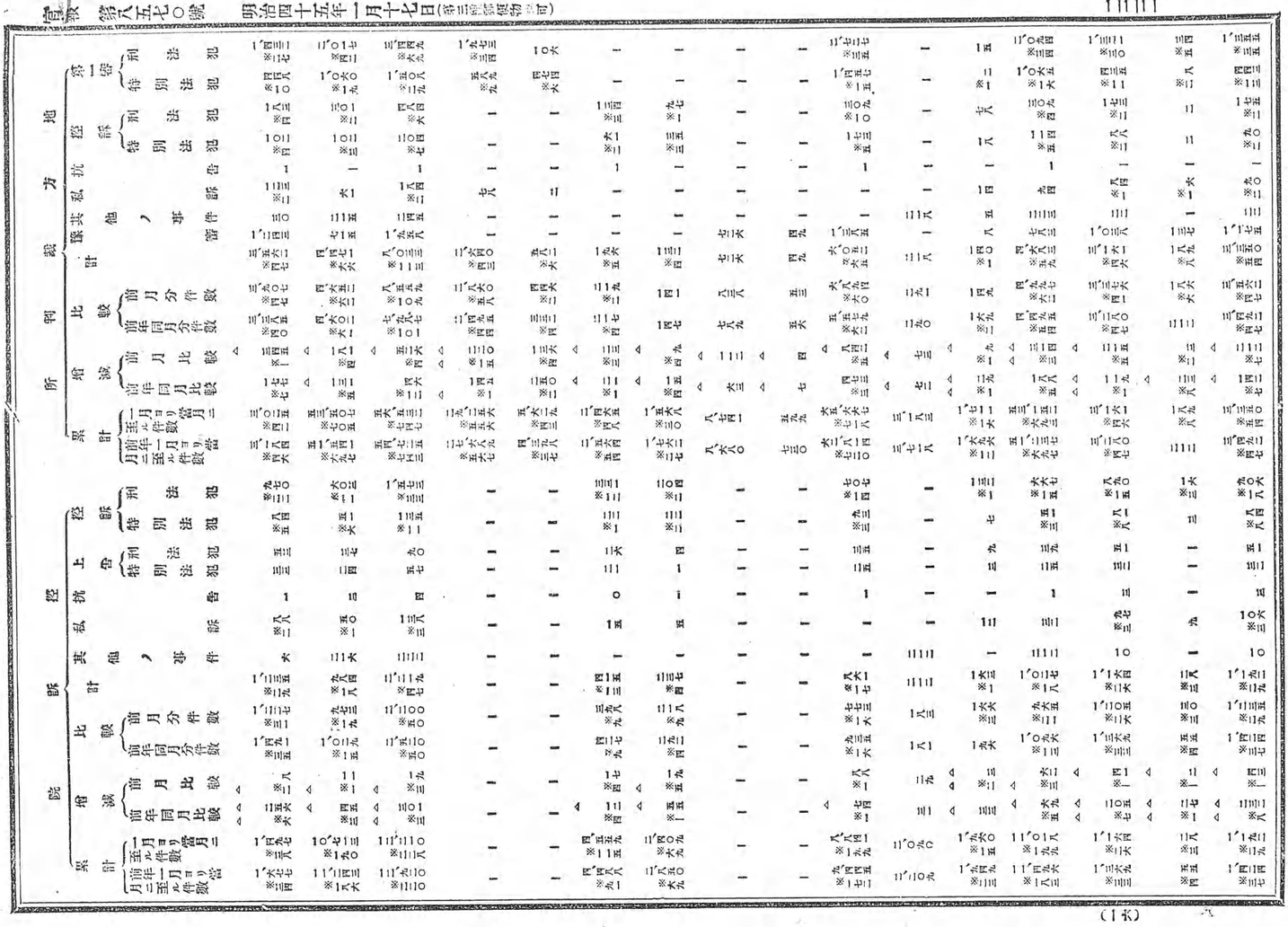
○海員審判所裁決　高等海員審判所及ビ東京、大阪兩地方海員審判所ニ於ケル裁決左ノ如シ（圖書省）

審判所名	事件	年月日	裁決	本籍	氏名
高等	汽船長久丸甲板部員ノ職務怠慢	四十四年十一月廿一日	不適任ト認メ戒飭ノ上本人ヲシテ三箇月間上陸ヲ禁ジ其ノ間ニ於ケル給料ヲ減ズル事	愛媛縣	甲板長
同	汽船長久丸甲板部員ノ職務怠慢	同





第8570号　本文



第 85770 号　本文

○陸海軍

○所在不明ノ徴兵終決処分未濟者左ノ如シ（山形縣ニ於テ明治四十四年ニ生ル）

氏名	生年月日	所在
本間榮治	三四・一・一	山形縣西村山郡谷地村大字上
佐藤三治	三四・一・一	同縣同郡同村大字同
長山六郎	三四・一・一	同縣同郡同村大字同
長山六郎	三四・一・一	同縣同郡同村大字同
佐藤乙三

同月中保管證券ノ受拂左ノ如シ

種別		前年同月分	比較増減	同上割合
人員	受入保管	一、三一一	五九	〇・〇四五
	拂渡付託	三、二一〇	五二七	〇・一七三
	月末現在運用	九五〇	一四〇	〇・一七三
度數	受入保管	二七、一〇九	七八	〇・〇〇三
	拂渡付託	三五、二五五	三、二〇〇	〇・〇九〇
	月末現在運用	三一〇	六、四四九	〇・二〇八
證券枚數	受入保管	一、三一一	一、二四九	〇・一〇一
	拂渡付託	一、九四九	一、二四一	〇・一〇一
	月末現在運用	一、九七八	一、二四一	〇・一〇一
額面金額	受入保管	二、一五六、〇〇〇	一、二四九、〇〇〇	〇・一〇一
	拂渡付託	二、三五五、九〇〇	一、二四九、〇〇〇	〇・一〇一
	月末現在運用	二、一五六、〇〇〇	一、二四九、〇〇〇	〇・一〇一

同月中年金恩給金ノ拂渡高左ノ如シ（以上遞信省）

種別	拂渡金額	前年同月	比較増減	同上割合
旭日章	五五、〇〇〇	四、〇〇〇	五一、〇〇〇	一二七五・〇〇〇
勲章	八、〇七〇	九、六四〇	△一、五七〇	△一六・三八
年金	九、六四九、三四〇	八、九六九、三四〇	七七九、〇〇〇	八・六八
金恩給同遺族扶助料及同一時賜金	三、三五五、五二〇	三、二四〇、〇二〇	一一五、五〇〇	三・五五
陸軍軍人恩給同遺族扶助料及同一時賜金	一、六一六、三五六	一、五八一、三五六	三五、〇〇〇	二・二一
海軍軍人恩給同遺族扶助料及同一時賜金	七、九九〇、二四〇	七、八九〇、二四〇	一〇〇、〇〇〇	一・二六
學校職員退隱料同遺族扶助料及同一時賜金	一、二〇〇、四〇〇	一、一八〇、四〇〇	二〇、〇〇〇	一・六九
巡査看守退隱料同遺族扶助料及同一時賜金	四、二五七、〇〇〇	四、二一四、〇〇〇	四三、〇〇〇	一・〇二
計	三、二九九、〇〇〇	三、二四九、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一・五四

分	前年同月比較増減△	同上割合△
上	九五、一五〇	二・八七
半	一、一〇七、八五〇	三四・一四
年	一、二〇二、〇〇〇	三七・〇〇

○衛生

○傳染病患者及死亡者數　昨四十四年十二月六日ヨリ同十日ニ至ル赤痢、腸窒扶私「パラチフス」、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ（內務省）

		患者	死者	本年初發以來ノ累計
赤痢	腸窒扶私「パラチフス」	患者	死者	本年初發以來ノ累計
		患者	死者	本年八月一日以來ノ累計
	痘瘡	患者	死者	本年初發以來ノ累計

道府縣	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
北海道	四	一	三	一	一	一	一	一
青森	一	一	一	一	一	一	一	一
岩手	一	一	一	一	一	一	一	一
宮城	一	一	一	一	一	一	一	一
秋田	一	一	一	一	一	一	一	一
山形	一	一	一	一	一	一	一	一
福島	一	一	一	一	一	一	一	一
茨城	一	一	一	一	一	一	一	一
栃木	一	一	一	一	一	一	一	一
群馬	一	一	一	一	一	一	一	一
埼玉	一	一	一	一	一	一	一	一
千葉	一	一	一	一	一	一	一	一
東京	一	一	一	一	一	一	一	一
神奈川	一	一	一	一	一	一	一	一
新潟	一	一	一	一	一	一	一	一
富山	一	一	一	一	一	一	一	一
石川	一	一	一	一	一	一	一	一
福井	一	一	一	一	一	一	一	一
長野	一	一	一	一	一	一	一	一
岐阜	一	一	一	一	一	一	一	一
静岡	一	一	一	一	一	一	一	一
愛知	一	一	一	一	一	一	一	一
三重	一	一	一	一	一	一	一	一
滋賀	一	一	一	一	一	一	一	一
京都	一	一	一	一	一	一	一	一
大阪	一	一	一	一	一	一	一	一
兵庫	一	一	一	一	一	一	一	一
奈良	一	一	一	一	一	一	一	一
和歌山	一	一	一	一	一	一	一	一
鳥取	一	一	一	一	一	一	一	一
島根	一	一	一	一	一	一	一	一
岡山	一	一	一	一	一	一	一	一
廣島	一	一	一	一	一	一	一	一
山口	一	一	一	一	一	一	一	一
德島	一	一	一	一	一	一	一	一
香川	一	一	一	一	一	一	一	一
愛媛	一	一	一	一	一	一	一	一
高知	一	一	一	一	一	一	一	一
福岡	一	一	一	一	一	一	一	一
佐賀	一	一	一	一	一	一	一	一
長崎	一	一	一	一	一	一	一	一
熊本	一	一	一	一	一	一	一	一
大分	一	一	一	一	一	一	一	一
宮崎	一	一	一	一	一	一	一	一
鹿兒島	一	一	一	一	一	一	一	一
沖繩	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	一	一	一	一	一	一	一	一
前年比較	一	一	一	一	一	一	一	一

○帝國水難救濟會月報　帝國水難救濟會各救難所ニ於テ昨四十四年十一月中ニ救助シタル遭難船數及遭難人員左ノ如シ（遞信省）

府縣	救難所	救難組合	救助船數	救助人員
東京	東京		七	二
宮城	石卷		二	六
山口	丸尾崎（下關上關）		三	四
			一	五
			一	三
德島	鳴門		一	二
島根	濱田		一	二
山形	酒田		一	三
合計			一〇	一五
青森	（下風呂龍飛鼻）		一	三
	（下風呂島居卿）		一	二

○在外公館及商務官報告

○日本陶器風袋及荷造ニ對スル米國稅關取扱ニ關スル件　日本陶器風袋及荷造ニ對スル米國稅關取扱ニ關スル件ニ付キシカゴ駐在領事山崎馨一ヨリ昨四十四年十二月十六日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

日本陶器風袋及荷造ニ對スル米國稅關取扱ニ關シテハ紐育ニ在ル各米國關稅評定所（Board of United States General Appraisers）ニ於テ審理セラレ（シカゴニ起リタル風袋荷造ニ關スル件モ一括紐育ニ回サレ併セテ審理セラレタリ）十二月七日ニハ輸入商側ノ委員三名評定所判事ノ面前ニ於テ種々ノ證憑ヲ擧ケテ大藏省ノ訓令ニ基ク風袋荷造ノ評價ノ過大ナル陳情ヲ大藏省側ノ代表員ハ大藏省訓令ノ至當ナル理由ヲ辯證シ判事ハ別ニ指定シタル證人ニ向ヒテ訊問スル所アリ審理ハ玆ニ終結シ十二月十四日當該判事ハ左ノ決定ヲ與ヘタリ其決定ニ曰ク

日本ヨリ輸入セラルヽ陶器ノ評價殊ニ風袋荷造ニ對スル適當ナル評價ニ關シテハ多クノ證憑ヲ徵シタリ合衆國ニ於ケル重ナル陶器輸入商カ提供シタル證憑及合衆國政府官吏ノ報告ニ依リテ精査スルニ陶器ノ風袋荷造ハ少クトモ之ヲ四種ニ分類スヘシ而シテ陶器ヲ荷造シタル外側ノ箱ハ或モ一立方呎ニ付キ八錢（日本貨ナリ以下之ニ倣フ）ニシテ陶器ノ包裝及荷造手間ハ包裝如何ニ依リ併テ一立方呎ニ付キ二錢五厘乃至十二錢ノ差等アリ依テ余ノ見ル所ニ依レハ藁「ストロー」詰（Packing in loose straw）ハ一立方呎ニ付キ十錢五厘束詰ハ（Packing in bundle straw）ハ同十四錢段紙詰（Packing in Corrugated Wrapper）ハ同十五錢、板紙箱詰並ニ段紙箱詰（Packing in Cartons, both Plain and Corrugated）ハ二十一錢ノ價格ナリト認ム以上四種ノ詰方ノ外尚ホ一種ノ分類ヲ設クルコトヲ得ヘシ其ハ一箱ノ內ニ前述四種ノ詰方ノ混合存在セル場合ナリ此種類ノ詰方ニ對シテハ特ニ評價額ヲ定ムルコト困難ナルカ故ニ混合ノ割合ニ應シ前四種ノ評價額ニ準據シテ決定スヘシ

從來陶器輸入商ハ送狀ニ一箱ノ風袋幾何ト記載シタルモ以後ハ箱ノ容積ヲ呎ニテ幾何ト記載シ且ツ其詰方カ前記四種ノ中孰ナリヤヲ明記スヘク若シ一箱ノ中ニ四種ノ詰方ノ中二種以上混合存在スルトキハ甲種ノ詰方幾立方呎、乙種ノ詰方幾立方呎ト細別シテ送狀ニ記載スヘク混合詰方ノ箱ノ番號及形狀等ヲモ送狀ニ記載シ必要ノ場合ニ於ケル稅關檢査官實地檢査ノ便ニ資スヘシ云々ト本決定ハ畢竟スルニ勉テ生產國（日本）ニ於ケル實際ノ價格ヲ測定スルコトヲ期シタルモノニシテ風袋ニ關スル從來ノ送狀ノ記載ヨリハ引下ケラレタルモ本年八月以降實施セラレタル大藏省訓令ニ基ク風袋ノ評價標準ヨリハ引下ケラレタリ當地方當業者ノ觀測スル所ニ依レハ大藏省側カ本決定ニ對シ控訴スルコトハ先ツ之ナカルヘク本決定ハ殆ト本件ニ關スル遭遇則タル（シト云フ）

○傳染病月報　在外公館ヨリノ傳染病月報左ノ如シ　十四年十二月十三、（外務省）

吉林（四十四年十二月中）　患者死者共ニナシ（在吉林帝國領事館報告）

遼陽（四十四年十二月中）　鼠疫患者八（內十一月中ヨリ繰越ノ者四）アリ內全治七ニシテ殘一ハ目下南滿洲鐵道株式會社大連醫院遼陽分院ニ入院治療中ニシテ總テ本邦人ナリ（在遼陽帝國領事館報告）

○雜事

○移民取扱出張所設置及移轉　移民取扱人ヨリ出張所ヲ設置及移轉セシ旨左ノ如ク屆出テタリ（外務省）

屆出年月日	事項	移民取扱人
四四、二、二、元	愛媛縣松山市松前町二十番戶及同縣北宇和郡宇和島町字船大工町五番地ニ各出張所設置	東洋移民合資會社
四五、一、四	廣島縣蘆品郡府中町六百四十四番地ノ二及同縣深安郡福山町字西町乙號五百番地ニ同上	同
同上	廣島縣三原町大字三原八百八十五番地愛媛縣松山市港町四丁目九十八番戶及山口縣玖珂郡岩國町大字岩國三百六十五番地ニ同上	同
同	廣島縣加茂郡下野村四百七十一番屋敷ヲ井辰吉方ニ出張所設置	竹村與右衞門
同	兵庫縣神戶市海岸通四丁目五十一番地ノ出張所ヲ同縣同市榮町三丁目三十六番地ノ一ニ移轉	同

○雜事

○移民取扱出張所設置及移轉　移民取扱人ヨリ出張所ヲ設置及移轉セシ旨左ノ如ク屆出テタリ（外務省）

屆出年月日	事項	移民取扱人
四四、二、二、元	愛媛縣松山市松前町二十番戶及同縣北宇和郡宇和島町字船大工町五番地ニ各出張所設置	東洋移民合資會社
四五、一、四	廣島縣蘆品郡府中町六百四十四番地ノ二及同縣深安郡福山町字西町乙號五百番地ニ同上	同
同上	廣島縣三原町大字三原八百八十五番地愛媛縣松山市港町四丁目九十八番戶及山口縣玖珂郡岩國町大字岩國三百六十五番地ニ同上	同
同	廣島縣加茂郡下野村四百七十一番屋敷ヲ井辰吉方ニ出張所設置	竹村與右衞門
同	兵庫縣神戶市海岸通四丁目五十一番地ノ出張所ヲ同縣同市榮町三丁目三十六番地ノ一ニ移轉	同

許可 8570 本文

○上海寄港患者ニ關スル在同地帝國總領事館ヨリノ通報（外務省）

○上海寄港患者ニ關スル在同地帝國總領事館ヨリノ通報左ノ如シ（外務省）

○傳染病報告（上海帝國總領事館在上海ノ傳染病報告左ノ如シ（外務省））

○新民府重要物產及金融市場（新民府ニ於ケル昨四十四年十二月下旬ノ重要物產及金融市場ニ付キ在奉天總領事館新民府分館主任外務書記生北條太洋ヨリ本月五日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省））

○米國ニ於ケル重要農作物輸出ノ消長

○米國ニ於ケル重要農作物輸出ノ消長

○穀物檢查法中商品見本無效ノ件

○穀物檢查法中商品見本無效ノ件

○穀物檢查法中商品見本無效ノ件

○天氣概況
○全國天氣圖
○東京地方天氣豫報

○土地收用公告

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　道路改修

地　愛知縣名古屋市南區熱田神戸町、熱田新尾町、熱田江川町、熱田内田町、寅築地、愛知郡呼續地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　道路改修

地　愛知縣名古屋市中區榮三ノ瀬町五丁目地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　學校建設

地　愛知縣名古屋市

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　道路改修

地　愛知縣葉栗郡前渡村

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市

起業ノ種類　鐵道敷設

地　京都府京都市下京區大字西九條地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市

起業ノ種類　傳染病院建設

地　京都府葛野郡西院村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　岡山縣淺口郡玉島町

起業ノ種類　用水路新設

地　岡山縣淺口郡玉島町、船穂村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　道路改修

地　愛知縣葉栗郡井部篠木村高瀬寺村坂下村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　學校建設

地　愛知縣名古屋市中區榮三ノ瀬町五丁目地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣

起業ノ種類　道路改修

地　愛知縣葉栗郡前渡村

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市

起業ノ種類　鐵道敷設

地　京都府京都市下京區大字西九條地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市

起業ノ種類　傳染病院建設

地　京都府葛野郡西院村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　岡山縣淺口郡玉島町

起業ノ種類　用水路新設

地　岡山縣淺口郡玉島町、船穂村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○廣告

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

公告中起業地ノ項ニ掲ケ鬱井通八目ヲ追加ス

明治四十四年四月二十六日阪神電氣鐵道株式會社軌道敷設ニ關スル土地收用

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　岡山縣淺口郡玉島町、船穂村地内

起業ノ種類　高瀬川水路變更

地　高瀬川水路ノ變更ニ關スル土地

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市

起業ノ種類　鐵道敷設

地　京都府京都市下京區大字西九條地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市

起業ノ種類　傳染病院建設

地　京都府葛野郡西院村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　岡山縣淺口郡玉島町

起業ノ種類　用水路新設

地　岡山縣淺口郡玉島町、船穂村地内

右公告ス

明治四十五年一月十七日　内閣總理大臣侯爵西園寺公望

○工場財團

○鑛業停止

○廣告

○土地收用公告

○工場財團

○鑛業停止

○廣告

第8570号　本文

官報

明治四十五年一月十七日　火曜日

彙報

○生徒募集

東京高等師範學校附屬中學校

明治四十五年一月

入學志願者ハ本校ヨリ交付スル入學願書ニ必要ノ書類ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

入學志願者ハ左ノ條件ヲ具備スルモノタルヘシ

一　年齢滿十二年以上ノ男子

二　尋常小學校ノ課程ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メラルル者

入學志願者ニ對シテハ入學試驗ヲ行フ

入學試驗ハ左ノ學科目ニ就キ筆記試驗ヲ行フ

一　讀方　綴方　書取

二　算術

三　日本歷史

四　地理

五　理科

入學試驗ハ明治四十五年一月二十日ヨリ施行ス

入學試驗ノ場所ハ追テ本校ノ掲示板ニ於テ告示ス

入學志願者ハ明治四十五年一月十五日迄ニ入學願書ニ履歷書及ヒ戸籍謄本ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

入學志願者ハ入學試驗ノ際ニ於テ身體檢査ヲ行フ

入學志願者ハ入學試驗ノ際ニ於テ學力ノ外ニ人物ヲモ考査ス

入學試驗ノ際ニ於テ及第ノ點數ニ達セサル者ハ入學ヲ許サス

入學試驗ノ際ニ於テ及第ノ點數ニ達シ且ツ身體檢査ニ於テ合格ノ者ハ本校ノ豫科ニ入學ヲ許可ス

豫科ノ修業年限ハ一箇年トス

豫科ノ教科目ハ左ノ如シ

修身　讀方　綴方　書取　算術　日本歷史　地理　理科　圖畫　唱歌　體操

豫科ノ教科目ニ就キ入學試驗ヲ行フ

豫科ノ教科目ニ就キ及第ノ點數ニ達セサル者ハ豫科ニ入學ヲ許サス

豫科ノ教科目ニ就キ及第ノ點數ニ達シ且ツ身體檢査ニ於テ合格ノ者ハ本科第一學年ニ入學ヲ許可

聽力　障害ノ有無
耳疾
器
呼吸　神經病　血液　皮膚　器
行
語
言

本年四月當校第一學年生徒（男、女）三十人及第五學年ヲ除キ其他ノ各學年生徒（男、女）各、若干人ヲ募集ス入學志望者ハ來ル二月二十九日マテニ願出ツヘシ
入學心得等承知シタキ向ハ當校ニ承合スヘシ但シ郵便ニテ承合ノ節ハ返信料弐錢郵便切手一枚ヲ要ス
明治四十五年一月　東京盲學校

○免狀無效

第四一二號　證書　一枚
右紛失ノ旨届出ニ依リ無效トス
明治四十五年一月　農商務省

○郵便局燒失

本月六日磐城國移轉郵便局鎭燒郵便物其他異狀ナシ
明治四十五年一月　遞信省

○不能還付郵便物

昨四十四年十二月當局監督區内（愛知、岐阜、三重三縣）扱内國不能還付郵便物左ノ通ニ付キ心當ノ者ハ當局又ハ差出地ノ郵便局ニ申出テラルヘシ
明治四十五年一月

第一種	二八通	第三種	一三通
第二種	二八六通	第四種	一二七通

内有價物在中ノモノ

種別	差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	品名	數量
第一種	津市　長井　きわ	神戸市兵庫下澤通一五番地四郎方　澁田　のと	一圓紙幣	一枚
普通小包	同	同	異綿	百匁
同	同	同	犬ノ毛皮一枚（一疋分）	
			繃帶	二本
			脫脂綿	二枚
			「ガーゼ」	五枚
			紬竪縞着物	一枚
			甲斐絹羽織裏	一掛
			白「モスリン」繻袢襦	一組
			裏地	一段
			支那繭紬帶	一枚
			片側女向浴衣	一枚
			「モスリン」製蒲物裏	一枚
			寶節（月さら〈新築〉）一箱（一圓分）	

脫出品　—

○外國旅券無效

第八六七四號　外國旅券　明治四十五年一月十日　神戸市兵庫下澤通一五番地四郎方　澁田　のと　普通小包　一個
第一七二八八號　同　上　同年九月二十日　同　上　同　同　同
第三〇〇三一號　同　上　同年十月二十日　同　上　同　同　同

名古屋遞信管理局

脫出品

種別	數量	品名
普通小包	一二	在中品

第一號　第一號奏換機用三心入コード（赤外七點）　第三號　大麥　四百石（單價契約）
第二號　第一號奏換機用三心入コード（赤外十點）
以上入札保證金各自見積額百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來其業ニ從事シ且ツ明治四十一年五遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス
右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局經理部ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕樣書及見本品等熟覽ノ上同三十一日午前十一時マテニ當廳ニ入札ス入札保證金ヲ納シ同十一時限入札ス
此契約ハ東京遞信管理局長棟居喜九馬擔任ス
明治四十五年一月十七日　馬政局

○外國旅券無效

第八六七四號　外國旅券　明治四十五年一月十日　神戸市兵庫下澤通一五番地四郎方　澁田　のと　普通小包　一個
第一七二八八號　同　上　同年九月二十日　同　上　同　同　同
第三〇〇三一號　同　上　同年十月二十日　同　上　同　同　同

脫出品　—

第8570号　本文

○株主總會

開會
日本銀行
株券ヲ當行ニ於テ
五株券十五枚ヲ以テ一株ノ割合ヲ
株券ヲ當行ニ於テ
株券ヲ當行ニ於テ
株券ヲ當行ニ於テ

官報第八千五百七十號附錄

明治四十五年一月十七日

○廣告

○商業登記

日進合資會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十五年一月一日有限責任社員長谷見傳作ハ出資額全部ヲ長谷見竹五郎ニ譲渡シテ退社シ之ヲ譲受ケタル長谷見竹五郎ハ同日無限責任トシテ入社ス
出資額金千圓
右明治四十五年一月八日登記
東京區裁判所南品川出張所

株式會社勸業貯蓄銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金十七圓五十錢ト變更
右明治四十四年十二月二十九日登記
東京區裁判所駒澤出張所

日本檀苗株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役油田次郎吉ハ明治四十四年十二月二十五日移轉ニヨリ其住所ヲ左ノ如ク變更ス
神奈川縣三浦郡田越村大字逗子七百十三番地
日本電業株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役馬場安太郎ハ明治四十四年十月二日任期滿了ニヨリ退任シ同年十二月二十五日左ノ者監査役ニ就任ス
北海道小樽區信香町三番地　馬場安太郎
右明治四十五年一月六日登記
東京區裁判所淀橋出張所

東京板紙株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十四年十二月二十五日左ノ者取締役ニ重任セリ
取締役　東京市芝區通新町十五番地　鈴木　恆
同　同市日本橋區北新堀町十八番地　淺野總一郎
同　同市京橋區南傳馬町一丁目十七番地　山中隣之助
同　同市麻布區飯倉町二丁目十四番地　深山　正
同　北豐島郡南千住町大字千住南七百九十四番地　川村治兵衛
一明治四十四年十二月二十五日左ノ者監査役ニ重任セリ
監査役　東京市淺草區御藏前片町三番地　靑地幾次郎
同　同市同區北富坂町十九番地　須藤壯一郎
右明治四十五年一月六日登記
東京區裁判所淀橋出張所

磐城採炭株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十四年十二月三十日左ノ者監査役ニ重任セリ
監査役　芝區田町七丁目五番地　大友　鎧幸
同　橫濱市西戸部町三百四十三番地　名木　元平
同　日本橋區本銀町一丁目十四番地　粼間　勝輔
右明治四十五年一月八日登記
東京區裁判所千住出張所

株式會社興國銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役寶田忠次ハ明治四十四年十二月二十六日辭任セリ
右明治四十五年一月八日登記
東京區裁判所下板橋出張所

株式會社八王子貯蓄銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役越智藤孝ハ明治四十四年十二月三十日死亡セリ
右明治四十五年一月六日登記
八王子區裁判所

ゼー、クラウン、コルク、コンパニー、リミテッド變更事項
一橫濱支店
右明治四十四年十二月三十日登記
橫濱區裁判所

商號
一營業所
一營業
一商號使用者
右明治四十五年一月四日登記
堀江商店
橫濱市太田町五丁目八十八番地
肥料製造販賣竝ニ輸入販賣及賣買業　堀江宗太郎
橫濱市太田町五丁目八十八番地
橫濱區裁判所

株式會社神奈川縣農工銀行變更事項
一各新株式拂込金額　金十圓
一主ノ人
一支配人ヲ置キタル場所　橫濱市本町六丁目八十二番地
右明治四十五年一月六日登記　橫濱市入船町一番地　橫濱市入船町一番地

鎌倉葬儀株式會社變更事項
一本店
右明治四十四年十二月二十八日登記
鎌倉郡鎌倉町大町百十七番地
橫濱區裁判所小袋谷出張所

商號
一本店
一目的
一設立年月日
一代表社員
一存立時期
一社員及其出資種類價格及責任
山田酒造合資會社
高座郡海老名村河原ロ二百六十九番地
酒類ノ釀造及販賣
明治四十四年十二月二十日
山田嘉穀　滿二十箇年
金三百圓　無限　高座郡海老名村河原ロ二百六十九番地山田嘉穀
金一千圓　有限　同所同番地山田ヌイ　金七百圓
地山田タツ　金二千圓　無限　同村中新田千五百十九番地大島正忠
右明治四十四年十二月二十五日登記
橫濱區裁判所國分出張所

相模煙草合名會社變更事項
一社員落合彥三郎、上原善次郎、澁川忠兵衛ハ持分全部ヲ高座郡海老名村中新田二千百二十九番地盛屋彥太郎外社員五名ニ譲渡退社
一社員梶利作ハ持分一部ヲ社員內田ウメ外四名ニ譲渡
一社員及其出資ノ種類價格
金一万圓
金四千八百七十五圓　盛屋彥太郎
金四千八百七十五圓　梶　利作
金四千五百七十五圓　砂川勝五郎
金二千六百二十五圓　佐藤　昌一
金二千百七十五圓　福島音次郎
金八百七十五圓　佐藤　三治
一代表社員中落合彥三郎ヲ盛屋彥太郎トス　內田　ウメ
右明治四十四年十二月二十六日登記
橫濱區裁判所上溝出張所

株式會社東陽銀行變更事項
一監査役越智藤孝ハ明治四十四年十二月三十日死亡セリ
一取締役及監査役改選
取締役　三浦郡浦賀町谷戸一番地　山下　喜助

許可 8570 官報 附錄

第8570号 付録

第 8570 号 付録

第 8570 号 付録

漁業組合登記

岩船郡猿澤村大字漁業組合

一名稱　岩船郡猿澤村大字漁業組合
一事務所　荒尾外三ケ字
一組合員ノ資格　荒尾七十九番地乙
一出資ノ一口ノ金額及其ノ口數　金五圓ヲ以テ一口トシ二口以上
一出資ノ一口ノ金額ノ全部又ハ一部ヲ拂込ムヘキ時期及拂込ノ方法　金額ヲ二回ニ分チ第一回ハ組合ノ設立ノ認可アリタル日ヨリ三十日以内ニ拂込ムヘキモノトシ第二回ハ第一回ノ拂込ヲ終リタル日ヨリ三十日以内ニ拂込ムヘキモノトス
一組合ノ存立時期又ハ解散ノ事由　組合ハ設立ノ認可アリタル日ヨリ滿十箇年ノ間存立スルモノトス但シ組合ノ解散ヲ決議シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
一組合ニ關スル公告ノ方法　組合ニ關スル公告ハ組合事務所ノ掲示場ニ掲示スルノ外猿澤村ノ廣報ヲ以テ之ヲ掲載ス
一組合ニ關スル通知ノ方法　組合ニ關スル通知ハ組合事務所ノ掲示場ニ掲示スルノ外猿澤村ノ廣報ヲ以テ之ヲ掲載ス
一組合ニ關スル公告又ハ通知ヲ掲示スル場所　組合事務所ノ掲示場
一組合ニ關スル公告又ハ通知ヲ廣報ニ掲載スル場合ニ於テ廣報ノ發行ヲ怠リ又ハ廣報ヲ發行スルコト能ハサルトキハ組合ニ關スル公告又ハ通知ハ其ノ掲示ヲ終リタル日ヨリ十日ヲ經過シタルトキハ其ノ效力ヲ生ス
一組合ニ關スル公告又ハ通知ヲ廣報ニ掲載スル場合ニ於テ其ノ掲載